

平成 24 年 1 月 10 日

会 員 各 位

社団法人 全国旅行業協会

■平成 23 年度 日本山岳ガイド協会認定資格 認定講習会開催について

ツアー登山におけるガイド需要の高まりの中、信頼されるガイドの養成が急務となっています。

そのような時代の要望に応え、(社) 日本山岳ガイド協会は昨年度よりツアー登山の認定講習会を実施しております。ツアー登山の引率者に求められる日本国内の無雪期の登山道上におけるガイディング行為に限定した「登山ガイド I」の資格を取得させるためのものです。

受講を希望される方は、受講資格に留意の上、お申込みいただきますようお願いいたします。

記

1. 主催：(社) 日本山岳ガイド協会
2. 協力：(社) 全国旅行業協会、(一社) 日本旅行業協会
3. 資格認定までの講習と研修について

<認定研修から資格付与まで>

○机上講習 (2 日間) ⇒○実技研修 (2 泊 3 日：無雪期ルートガイディングおよびレスキュー技術 (基礎) 研修)

- (1) 筆記試験が免除されます。

机上研修修了者は、(社) 日本山岳ガイド協会が実施する職能別検定試験一次に相当する筆記試験が免除されます。

- (2) 上記の実技研修修了時において日本山岳ガイド協会が認める技術水準を満たす者は、平成 24 年 4 月 1 日付けで、登山ガイド I に認定されます。

但し、水準を満たしていないと判断される場合は再受講を求める場合があります。

4. 認定研修受講資格について

次の(1)の登山経験の要件を満たし、(2)(3)のいずれかであり、かつ(4)(5)のいずれかを満たす者

- (1) 過去において通算 100 日以上の上登山経験を有し、その内に通算 30 日以上の上登山引率経験を含む者。受講申込の際に、願書の登山経験等をより詳細に書いた主要登山経歴 (書式自由) の提出を要する。
- (2) 旅程管理研修の課程を修了した者 (総合又は国内のいずれか)
- (3) 総合旅行業務取扱管理者試験又は国内旅行業務取扱管理者試験のいずれかに合格した者 (平成 7 年以前に合格した者)
- (4) 旅行者又は旅行者代理業者 (以下「旅行者等」という。) の業務に従事する者であって、旅行者等がその旨を証明した者

(5) 現に旅行業者によって選任され、ツアー登山引率業務を反復継続しおこなっている者であって、旅行業者等がその旨を証明した者

※(1)(4)(5)については旅行業者の証明(申込書で証明)、(2)(3)については修了証等のコピーが必要です。

※(1)の登山経験等が、受講基準に満たないと主催者が判断した場合は受講できませんので、あらかじめご諒承ください。

5. 登山ガイドI資格について

登山ガイドI資格は、社団法人日本山岳ガイド協会の実施する職能別資格検定試験一次に相当する筆記試験および二次の実技検定の無積雪期ルートガイディング実技検定、レスキュー技術義務講習基礎に合格したものと相当のものです。

6. 認定手続、更新研修受講について

別紙をPDFファイルにして掲載

7. 募集人員 20名(願書締切り(2月8日)以前であっても、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

8. 受講料と支払い方法

(1) 受講料(1人あたり、消費税込) 55,000円

※実地研修時に別途交通費(新宿から電車バス利用往復2,600円)、民宿宿泊代(約15,000円)が必要

※実技研修に必要な装備品を所持していない場合、ハーネス、ロープ、カラビナ等購入費として約20,000円必要です。(申込者に案内します)

(2) 支払方法

「受講票」の送付とともに銀行送金口座をお知らせします。期日までにお振込ください。

9. 願書受付(先着順受付です。)

郵送のみの受付とさせていただきます。

(1) 提出書類

<1> 願書

<2> 主要登山経歴書(書式自由)

<3> 写真1枚(縦4cm×横3cm):裏面に氏名をお書きください。

(2) 願書締め切り:平成24年2月8日(水)当日消印有効

(3) 願書等送付先(簡易書留・一般書留郵便でご送付ください。)

(社)全国旅行業協会 経営調査部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル5F

10. 受講票の送付

受講資格等を確認後、「受講票」を2月17日(金)までに発送いたします。

1 1. 教材の送付

講習会前に添付ファイル等で受講者宛にお送りします。

1 2. 認定研修内容

(1) 机上講習

日時：平成 23 年 2 月 25 日(土)-26 日 (日)

午前 9 時より 18 時まで 2 日間

会場：(一社)日本旅行業協会研修室

(東京都千代田区霞ヶ関 3-3-3 全日通霞ヶ関ビル)

○講習内容

基礎的知識 (自然環境保全、自然に関する事項、農山村・民俗に関する
事項、里地、里山の自然知識、森林・林業に関する事項)

ガイド業務関連知識 (ガイド業務関連法、ガイド倫理及びマナー)

スポーツ科学の基礎知識

自然解説技術及び専門的知識 (気象、読図解説技術、エコツーリズム)

安全管理 (リスクマネジメント)

危急事対応技術

ガイドング、歩行技術 (用具の使用法、ロープ技術、固定ロープの張り方)

(2) 実技研修

日時:平成 24 年 3 月 16 日(金)-3 月 18 日 (日) 2 泊 3 日

集合 3 月 16 日 (金) 午前 9 時 解散 3 月 18 日 (日) 午後 4 時

場所 丹沢・やどりき(寄) 宿泊予定 民宿

○講習内容

無積雪期ルートガイドング

・ガイドング技術、歩行技術、・危急事対応技術、・用具の使用法、

・ロープ技術、固定ロープの張り方、・自然解説技術

安全対策 (レスキュー) 技術 基礎

・危急事対応技術、・搬送技術、・引き上げ技術

○実地研修の装備について

添付の別紙を PDF ファイルにして転載

1 3. 研修結果の通知

研修結果は、3 月末に申込旅行業者等の代表者宛てに送付する予定です。

以上

○本件のに関する問い合わせ先

(社) 全国旅行業協会 経営調査部 担当：菊池

TEL 03-5401-3600 FAX 03-5401-3661

実技研修の装備について

共通装備（印は工夫の範囲です。必需品ではありません。）

品名	備考	品名	備考
リュックサック	60ℓ前後（背負搬送できる物）	非常用軽量バーナー等	1 および燃料（注1）
スタッフバッグ	適当数	ライター	1
ビニール袋	適当数	はし、スプーン、フォーク等	1
ヘッドランプ	顧客用予備も含めて複数	タオル	1
ツェルト	1（2～3人用）	ロールペーパー	適量
ナイフ	1	日焼け止め等	1
地図およびルート図	1（1/2万5千）注2	虫刺され薬等	1
コンパス	1（リインテリグ用のプレート付）	筆記用具	1（机上講習）
高度計		洗面用具	1
サングラス等	1（腕時計式でも可）	健康保険証	1（コピー可）
傘	適当数	顧客配布用として当該地域ガイド資料等	適当
時計	折り畳み	ガイドに相応しい衣類	防寒
ファーストエイドキット	1	下着類	適量
テーピングテープ	1 応急処置可能なもの	登山靴	1
水筒	38mm幅程度（アングラップも）	雨具上下	1 防風、防水兼用
行動用食糧	1	ホイッスル	1
非常用軽量コッフェル等	適量	ストック	1組（顧客非常時用）
	1		

注1 航空機を利用して受験される方は持参しなくて可。

注2 国土地理院発行2万5千分の地形図 必要な箇所に磁北線を引いた「秦野」「大山」「山北」「中川」4枚を必ず用意すること。全部を使用します。

登山ガイドステージ 実技研修に伴う専門装備

品名	備考	品名	備考
衣料品類	登山に相応しいもの	スリング	120cm 2本
クライミングロープ	8mm/30m 1本	スリング	60cm 2本
安全環付カラビナ	2枚 1枚はHMS必携	登山用ハーネス	1（ビレイループ付）
カラビナ	2枚	登山用ヘルメット	

注：持参する装備、容量重量とも軽減を図り、且つ、必要なものは全て忘れないようにして下さい。また、昼食は行動食として各自で工夫して下さい。

ハーネス、カラビナ、スリング、ロープを所持していない方は、必ず購入し揃えること。

ヘルメットについては、貸与も可能です。予め申し出ください。

認定手続について

1 登山ガイドステージ 資格取得および認定とガイドの団体所属について資格取得者がガイド業務を行うにあたっては、日本山岳ガイド協会に正会員入会いたします。入会后、初めて認定ガイドとして活動を行うことが可能となり、「正会員証(ガイド認定証)」「ガイドバッジ」が付与されます。

正会員は3年に1度の資格更新研修を受講し、資格を更新する義務が発生します。この更新研修を受講しなければ、ガイド資格は停止となり、ガイド業務を行うことができなくなります。

日本山岳ガイド協会への正会員として入会するにあたっては、全国各地で活動する当協会に加盟する山岳ガイド組織である正会員団体に入会していただきます。正会員団体は、別紙パンフレットをご覧ください。ただし、正会員団体の入会条件等で制限を受けることがあります。入会する正会員団体が見つからない場合、日本山岳ガイド協会において受入れ組織を設けていますので、そこに入会し登録手続きをすることも可能です。極力、正会員団体へ入会していただくようお願いします。

日本山岳ガイド協会への入会登録手続

正会員団体へ入会したのち 日本山岳ガイド協会入会登録します。

正会員団体入会手続が必要となります。

正会員団体入会に当たっての費用(団体により異なります)

入会金 1万円～3万円

年会費 5千円～2万円

正会員団体に登録した後、

正会員団体を通じて社団法人日本山岳ガイド協会への登録を行います。

入会金 2万円

年会費 1万円

2.更新研修受講について

3年間のうちに1泊2日の更新研修を1回受講しなければなりません。会場は、全国各ブロックでの開催を実施中。

更新研修受講料 20,000円程度

3. 通年のブラッシュアップ研修

技術テーマごとの研修会が、通年開催されています。それらの研修会に参加されることをお勧めします。スケジュールにつきましては、入会手続き後に配布される事業案内をご覧ください。

- ・ファーストエイド研修会 1日または1泊2日
- ・ショートロープ研修会 1泊2日
- ・自然解説技術研修会 1日または1泊2日
- ・安全管理技術研修会 1泊2日

受講参加費 10,000円～28,000円程度

1泊2日以上研修会は、更新研修相当とみなすことができます。

開催地 各地において開催予定

4. 登山ガイドステージ から登山ガイドステージ への移行

登山ガイドステージ を取得後に積雪期の軽登山、スノーシューガイドを行う登山ガイドステージ にステップアップを考えている方は、実技検定試験「積雪期ルートガイディング」を受験、および義務講習「雪崩対策技術基礎」を受講します。筆記試験は要しません。

5. 入会申込書の記載について

既存の正会員団体に入会が決定している方は、入会申込書（その1）に記入の上、団体へご提出ください。

正会員団体へ入会ができない場合は、当協会の職能管理グループ<ツアー登山部会>に入会していただきます。その場合は、入会申込書（その2）を記入の上、当協会内職能管理グループ<ツアー登山部会>宛へお送りください。

平成23年度 日本山岳ガイド協会認定資格 認定講習会申込書

受講番号			旅程管理研修修了番号または旅行業務取扱主任者試験合格番号をご記入ください。(証書コピー添付要)	
フリガナ			性別	血液型
氏名			男・女	生年月日 西暦 年 月 日生 (年齢:満 才)
勤務先			旅行業登録番号(代理業者の場合は、所属旅行業者の番号も記入)	
会社名 (通称名は不可)			第1種 旅行業	観光庁長官登録 1 - 号
営業所名			第2・3種 旅行業	都道府県 知事登録 - 号
所属部課名			旅行業者 代理業	都道府県 知事登録 号
郵便番号	-		勤務先電話番号	() -
メールアドレス	@			
勤務先 所在地	都道府県			
自宅郵便番号	-		自宅電話番号	() -
自宅住所	都道府県			
緊急連絡先	(続柄:)			
登山経験	日 (主な山名:)			
海外登山 引率回数	回 (主な山名:)			
国内登山 引率回数	回 (主な山名:)			

在職等証明書

受講者氏名

上記の者は、下記の受講資格に該当することを証明します。 該当する に をしてください。

現在、当社の業務に従事していること

通算100日以上登山経験を有し、その内通算30日以上ツアー登山引率経験を有すること。

当社によって選任され、ツアー登山引率業務を反復継続しおこなっていること。

平成 年 月 日

会社名		
代表者名	役職	 <small>役職印 または 代表者印</small>

(個人印不可)

(注意事項)

受講番号欄は記入しないでください。

この願書をA4サイズ用紙に印刷してご記入ください。

受講願書の提出に際しては、すべて所属旅行会社にて取りまとめて提出していただきます。受講者個人による提出は、受理できません。